

萩 ネットワーク

第62号 2005年3月

発行：萩ネットワーク協会

〒758-8555 山口県萩市大字江向510 萩市役所広報課内

TEL 0838-25-3178 FAX 0838-26-5458

萩ポータルサイト「萩・情報の駅」

<http://www.city.hagi.yamaguchi.jp/portal/>

関西の萩⑦ 木戸孝允（一坂太郎）	・・・ P4
ズームアップ [三浦孝夫]	・・・ P5
インタビュー [中屋達也]	・・・ P6
萩の店・人 [西村幸子] 小萩	・・・ P10
夢追人 [堀 成夫]	・・・ P12
萩沖の島々を巡る②【見島】㊦（中澤さかな）	・・・ P16



萩フォトコンテスト第1期
入選作 原田秀子さん（萩市堀内）「虎ヶ崎のツバキ」



花の咲き誇る萩で春を満喫してみませんか？

萩を「味の町」で売り出す

2/27 ~ 3/12

萩・まちじゅう味めぐり

例年2月下旬から3月上旬にかけて、それぞれ単独で開催されていた「萩しる魚まつり」3月6日(日)、「萩の酒まつり」3月12日(土)。「萩を「食」で売り出したい」と考えていた観光協会・事業部メンバーの発案で、既存の味覚イベントを核に、市内の旅館・料理屋・酒蔵などでも期間限定メニューの提供や、酒蔵の開放などのミニ企画を2週間に渡って展開する「萩・まちじゅう味めぐり」を新しいイベントとして企画。

点から線へ、線から面へ、更には時間的広がりを持った、大きな塊として、萩の「食」を全国に発信し、個々の祭の賑わいと、観光客の増加に結びつけようという試み。

□問い合わせ 萩市観光協会 (0838・25・1750)

展望車から見る
山陰の海は絶景！
JR快速 萩・長門
ブルーライナー号
下関から萩まで、山陰線を走るオープンカフェタイプの展望列車(4両編製)、萩・長門ブルーライナー号が運行されます。
料 金 乗車券と座席指定券(510円)が必要です。
運転日 3月19日～6月26日の土・日曜日、祝日
*4月29日～5月8日は毎日運行
停車駅 新下関、下関、川棚温泉、滝部、長門市、仙崎(往路)、萩、東萩
問い合わせ JR東萩駅 (0838・22・0271)

笠山椿群生林は2万5000本の椿が見頃です

3/21まで 萩・椿まつり

萩市北東部に位置する虎ヶ崎約0haには、約60種、2万5000本のヤブツバキが自生し、昨年12月3日に開花宣言がありました。2月中旬から3月にかけてが見ごろと言われています。

とき 2月19日～3月21日
ところ 笠山虎ヶ崎の椿群生林

【主な催し】

椿見どころ案内人による案内(午前10時～午後4時。土曜・日曜日・祝日は会場受付、無料。平日は予約制)

【土曜・日曜日・祝日のみ】

椿の苗木・椿グッズ・特産品販売
【日曜日・祝日】
抹茶席、郷土芸能披露

【会場までの交通】

越ヶ浜市営駐車場から、明神池上駐車場を経由する無料シャトルバス運行

「昨年の夏の晴天で、今年は、例年になく花が多く、長い間楽しめる」と、椿見どころ案内人もお勧め。ぜひ足を運んでみませんか。問い合わせ 萩市観光課内 萩・花ごよみ実行委員会 (0838・25・3139)

萩しる魚まつり

とき 3月6日(日)

ところ 道の駅「萩しーまー」と萩の早春の風物詩。しる魚の踊り喰いや四つ手網体験コーナー、しる魚料理の販売など。
問い合わせ 萩市観光協会 (0838・25・1750)

萩の酒まつり

とき 3月12日(土)

ところ 千春楽味亭
新酒のできる春先に行われる、萩地域の地酒と肴を楽しむ会。
問い合わせ 萩市商工課内 萩の酒まつり実行委員会 (0838・25・3108)

春のお魚まつり

4月8日(金)～10日(日)

萩しーまーと及び漁港周辺
問い合わせ 萩しーまーと (0838・24・4937)

萩焼まつり

5月1日(日)～5日(祝)

萩市民体育館
問い合わせ 萩商工会議所 (0838・25・3333)

萩・大茶会

5月3日(祝)・4日(休)

萩城跡指月公園
問い合わせ 萩市観光課 (0838・25・3139)



昨年の観光客数

143万人で

ほぼ横ばい

今年も温泉で
新たな滞在型観光

秋市観光協会は、昨年1年間の観光客数の調査結果を発表した。

昨年の観光客数は142万8630人で、前年比99.9%とほぼ横ばい。宿泊客数は44万1679人で、前年比92.4%と減少となった。

夏場は猛暑と台風に見舞われ、団体客のキャンセルが相次ぎ、前年を大幅にダウン。秋には、萩博物館の開館や萩開府400年記念

萩博物館

入館5万人

開館3か月で達成

昨年11月11日に開館した萩博物館の入館者が、2月16日5万人に達した。年間15万人を目標としており予定より早い達成。

5万人目の入館者は千葉県成田市の主婦大山靖美さん(42)。野村萩市長から市花・ツバキのアート盆栽などの記念品が贈られた。「主人と観光旅行で訪れた。萩は大学時代に遊びに来て以来22年ぶり。5万人目と聞いてびっくり」と、木の香りあふれる萩博物館に喜んでいった。



イベントがあり、11〜12月は前年比10%以上の観光客数を記録し、前年並みを維持できた。

観光協会の光國良子会長は、「昨年掘り当てた温泉と、近世の都市遺産が残る町並みを全国にPRして、宿泊滞在型の新たな観光を目



ワンコイントラスト運動

(1000円信託) スタート

萩の町の保存へ

市とNPO「萩まちじゅう博物館」

では2月から、歴史遺産の保存や活用を図るため、ワンコイントラスト運動を始めた。萩にしかない「宝物」を次世代に伝えるのが目的。

これは、イギリスで始まった手法。幕末の志士の旧宅など老朽化が著しい物などを、賛同者の信託金で保存・修復の費用に充てるもの。市内8つの観光スポットに募金箱を設置し、募金箱の前には写

真などで具体的な修復物件を明示して賛同者を募りやすくする。

高木正熙・萩まちじゅう博物館館長は「早く信託金を使った事業を行い、協力の輪を広げたい」と期待している。

これまでも各施設には、どないしょんボックス(寄付箱)が置いてあり、03年度は410万円の収入があった。



【設置場所】

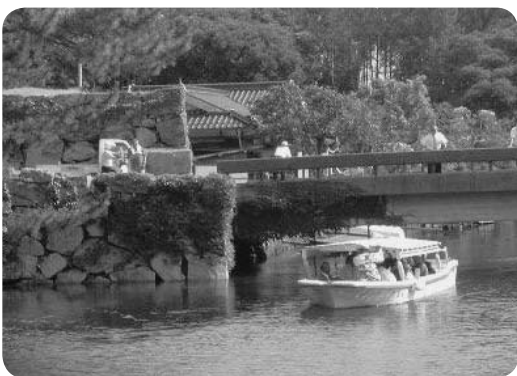
- 旧久保田家住宅、伊藤博文別邸、旧湯川家屋敷、桂太郎旧宅、青木周弼旧宅、木戸孝允旧宅、口羽家住宅、旧田中別邸
- 以上8か所(順次拡大)

萩八景遊覧船

3月1日運航

昨年7月に、萩開府400年を記念して運航を開始した萩八景遊覧船。11月末までに8000人を超えるお客様にご乗船をいただきました。今年の観光シーズンを迎え、3月1日より2年目の運航を開始します。

- ◆運航 3月から11月 午前9時から午後5時(受付は午後4時まで) ※荒天時欠航
- ◆料金 大人1200円、小人600円(20人以上の団体 大人1000円、小人500円)



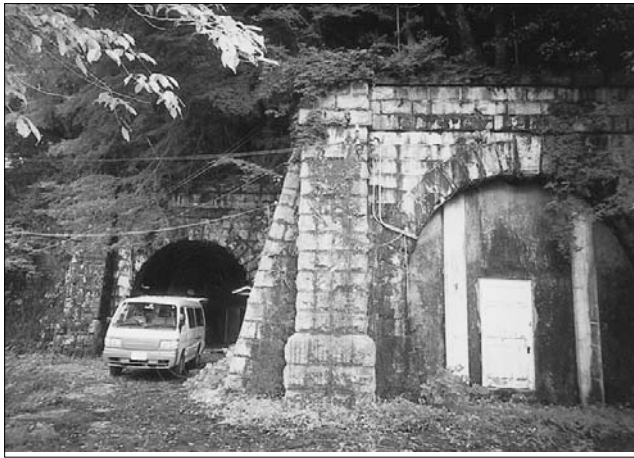
□問い合わせ 萩市観光課 (08388・2533139)

萩市、川上村、田万川、むつみ村、須佐町、旭村、福栄村の

1市2町4村は、3月6日(日)新設合併します。(8ページ)

関西の萩⑦ 木戸孝允終焉の地

輝いた幕末 脳裏に



▲ 1916年に建立された「木戸孝允旧跡」の石碑



▲ 京都屋敷跡の一角に建てられた桂小五郎の銅像
現在の京都ホテルオークラ（中京区河原町御三區）が建つ場所

「桂小五郎」は幕末、長州藩の青年リーダーとして尊攘・討幕運動の先頭に立って活躍した。剣豪としての武勇伝や芸妓幾松（松子）とのロマンスなど、「陽」のイメージで語られる時期である。桂は1866（慶応2）年9月、幕府の追及から逃れるため、藩命により木戸と改姓。ところが明治という新時代が訪れるや、「木戸孝允」は途端に生彩を失い、「陰」の時期に突入する。

新政府の参与、参議といった要

職を歴任したものの、版籍奉還後の方針や、清国や朝鮮への使節派遣など、木戸が打ち出す政策はタイミングが悪く、上手くいかない。1873（明治6）年の「征韓論争」では、大久保利通と組んで西郷隆盛と対立したが、途中でリタイアしてしまった。

続いて大久保が唱えた「台湾出兵」にも、木戸は内治優先、時期尚早を唱えて反対するが、押し切られてしまう。健康状態も悪化していた木戸は、大久保批判を日記に記しながら、いったん政府から去るしかなかった。

1875（明治8）年2月の「大阪会議」で、木戸は大久保に三権分立を認めさせ、政府に復帰するが、病魔との闘いは続く。1877（明治10）年1月、天皇の関西巡行に従った木戸だが、京都に着いた途端、またもや持病を発す。そして、近衛家屋敷を買い取った別邸で療養生活に入る。

ちょうどその頃、下野した西郷が、鹿児島で不平士族に擁され、西南戦争を起こす。これを挽回の好機と考えた木戸は、みずから兵を率い鎮庄に赴きたいと願うが、容れられなかった。もし希望が叶ったとしても、そんな体力は残っ

同志ら眠る靈山に埋葬

ていなかったらう。

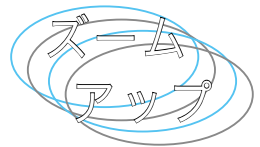
病が重くなると、木戸は自分の遺骸は東山靈山に葬るよう願った。靈山には同志の米島又兵衛や久坂玄瑞、坂本龍馬が眠っている。最も輝いた幕末の日々が、木戸の脳裏から離れなかったのだ。

5月18日には天皇みずから木戸の邸を慰問し、「朕深くこれを憂ふ、それよく保護を加えよ」の言葉を与えた。感激した木戸は、合掌しながら天皇を見送ったという。

ある夜、眠りから突如醒めて「西郷もまた大抵にせんか」と、怒鳴ったと伝えられる。5月26日、45歳で他界し、靈山に埋葬された。木戸終焉の邸跡は、京都市中京区の石長旅館や職員会館かもがわの地で、碑が建っている。

なお、残された妻松子は中京区木屋町通りの元長州藩控え屋敷で余生を送り、1866（明治19）年、44歳で没。孝允の墓の隣に埋葬された。屋敷は料亭幾松となり、いまも残る。

（平成17年1月9日付朝日新聞山口県内版「関西の防長4」より）
萩市特別学芸員 一坂太郎
（菊川町在住）



(株)海事プレス社 取締役企画管理部長

三浦 孝夫 氏

(埼玉県在住、昭和43年秋高校卒、54歳)

合併後の萩市が阿武町と仲良くやっていかれるよう希望してやみません



私の近況

大学を卒業して今の会社に入って32年になります。私が入社した年は1978年で、その年の10月

にオイルショックがありました。

私の会社は当時、海運造船業界を対象にした専門紙を発行しており、業界ではよく知られた存在でした。オイルショックで両業界は構造不況に突入し、私どもの会社

の経営にも打撃を与えましたが、航空貨物、客船(クルーズ)の分野に業容を拡大して危機を乗り切つて参りました。来年、創業50周年を迎えます。

私は当初、造船担当の取材記者として過ごしました。その後、デスクを経て、昭和の最後の年から一昨年末まで15年間、航空貨物を担当しました。

海外にもよく取材に出かけ、なかでも中国には1981年を皮切りにたびたび行きました。2002年から3年間毎年上海を訪れ、特集記事を書きました。昨年、入社以来の取材・編集業務から足を洗い、現在は総務・人事・経理を見ています。

2001年から東京指月会の事務局長を引き受けています。昨年は河村建夫文部科学大臣(当時)の「祝う会」や萩四高校在京同窓会で多忙でしたが、充実した1年でした。

年が明けて春を迎え、そろそろ今年の大会(10月)の準備が始まるところです。

萩の思い出

私は阿武町奈古の出身で、実は萩のことはあまりよく知りません。萩とのつながりができたのは、萩高校に入学してからです。この3年間は汽車通でしたから、学

校との往復で毎日が過ぎていました。

萩を身近に感じるようになったのは、萩高卒業18年後に東京での同期会に出席してからです。その後、毎年のように同期会を開催し、萩出身の同期生と交流が続きました。

1998年には私どもの期が東京指月会の引受幹事をやりましたが、その縁で東京指月会の事務局を引き受けることになり、三隅田良吉会長をはじめ萩出身の多くの方々と知り合いになりました。私の萩の思い出は東京にあります。

萩への一言

3月6日に新「萩市」が誕生しますが、私のふるさとの阿武町は合併に参加しませんでした。おかげで、東京指月会では肩身の狭い思いをしておりますが、新「萩市」が阿武町と仲良くやっていかれるよう希望してやみません。

プロフィール 昭和43年秋高校卒、昭和48年東京大学文学部西洋史学科卒。同年4月(株)海事プレス社入社。平成2年取締役。「日刊航空貿易」編集長、雑誌「CAR GO」編集長を経て現職。妻・悦子は会津若松出身。社会人の長男と3人暮らし。

萩地域の高校の定員数

3月になると、県立高校の入学試験が行なわれますが、少子化の影響で萩地域の各高校の募集定員も減少しています。市内4校(萩高、萩工業、萩商業、萩光塩学院)の生徒数と学級数について、平成10年と平成16年を比較すると、生徒数は2012人から1538人へ、学級数は55から44へと、減少しています。

学校名		募集定員(人)	学校名		募集定員(人)
萩	普通	160	萩光塩学院		120
	理数	26	奈古	生物資源科学	25
萩工業	機械	21		生活総合科学	21
	電気	25	大津	普通	94
	建設工学	21		英語コース	21
萩商業	総合ビジネス	35	水産	海洋技術	15
	国際情報	17		海洋科学	28

若い人でも起業できることを アピールしたい！

萩市にある田町商店街。その通りに中屋達也さんが経営する「cafe Jantique (カフェ ジャンティーク)」がある。お客さんの年齢層は商店街の利用客層とほぼ同じだが、若い人も目立つ。元気がなくなったといわれる商店街では珍しい光景だ。



cafe...
Jantique
ジャンティーク

有限会社 Jantique 取締役
中屋達也さん (37歳)
(萩市椿東在住)

中屋さんは萩高等学校を卒業後、神戸商船大学に入学。航海士となり10年ほど外国航路を巡った。その後萩に戻り2003年夏に店をオープン。ライトバンの中がキッチンになっている移動カフェスタイル。営業時には周りにテーブルが並べられオープンカフェのようになる。

「萩で今までにないもの、目立つことをやろうと思った」。

カフェは実は有限会社だ。03年から5年間の時限立法で、低資金で会社が設立できるようになったことを活用した。

「萩では何もできないと思っていて人たちが多いと思う。とくに若い人たちに、低資金でも会社ができるということアピールしたかった」

商店街では、月1回のフリーマーケットや3ヶ月に1回のアマチュア演奏会などのイベントを企画



カフェだけにこだわっているわけではない。次の展開も頭の中にはある。それとなく聞いてみたら、笑顔ではぐらかされてしまった。

営業時間 11時〜20時
定休日 月曜
連絡先 萩市田町アーケード イベントホール201内
090・2724・4961

し実行している。去年の11、12月に行われた5つの催しをチャリティイベントとし、収益を新潟中越地震への義援金にした。

「この商店街が盛り上がり自分の商売にもつながっていく。店はどこでも移動できるけれど、自分から人の多いところに行くのではなく、僕がここへ人を呼ぶんだ」という気持ち強いんですよ」と語る。

「フグの女王」の味わい

マフグはフグ料理の王道「ふく刺し」「ちり鍋」「唐揚げ」と、どれをとっても一流の味で、特にオスだけに入っている「白子」は、まさにお宝、左党をうならせる珍味です。よくトラフグと比較をされますが、天然トラフグは、透きとおった身と、一片の曇りもない純粋な旨み、さらに、職人技に

フグ科マフグ。マフグの「マ」は、マダイやマアジの「マ」と同じで、漢字で書くと「真」、まさに真のフグです。萩・笠山の椿群生林が見ごろを迎える2月から、萩・見島沖の漁場でマフグ漁が本格化します。マフグはトラフグに比べるとやや小型で、体の表面にトゲがなく、なめらかなことから「ナメタ」または「ナメラ」とよばれ、萩を中心とする北浦地区で、古くから親しまれてきたお魚です。

真のフグ



▲白子

▲ふく刺し

トラフグが「フグの王様」とすれば、さしずめマフグは「フグの女王様」。味はそれぞれのお好みといったところです。お値段はトラフグの3分の1以下、安い時は何と10分の1。しかも、養殖魚の多いトラフグに対して、マフグは全て天然物。漁師さんが大切に扱い、港まで活魚で運ばれます。道の駅「萩しーまーと」などでは、この時期限定で、有毒部を除去したミガキの状態で、産直通販も実施しています。

よって絵皿に盛られた「ふく刺し」は、日本食文化の最高峰に違いありません。一方マフグは、身の色が美しい鉛色で、深い旨みがあり、地元漁師さんの中には「味の点ではトラフグより、マフグが勝る」とおっしゃる方も少なくありません。

全て天然モノ、低価格も魅力

ぶちうまい！

萩の 酒めぐり

萩は藩政時代には100軒以上もの造り酒屋があった酒どころ。現在も13の酒蔵が伝統を守っています。新酒の完成時期に合わせ、3月12日に開催される「萩の酒まつり」では、その13醸造所が参加して、清酒が披露されます。この機会に萩の酒を味わってみませんか。

全国新酒鑑評会



金賞受賞 (平成15年)

◆中村酒造

創業大正5年。「宝船」は、漁師町という土地柄から大漁をイメージして名づけられた。すっきりとした味で、のみやすい酒。

萩市椿東3-108-14
☎(08388220137)

◆阿武の鶴酒造

阿武川に舞い降りた鶴をイメージしたお酒、その名も「阿武の鶴」。昔ながらのきりりとした味わいが特徴。

阿武町奈古2796
☎(08388220003)

◆河野酒造

「春洋正宗」は、芳醇な味わいで、しやれたデザインのラベルが目を引き。

阿武町奈古2715
☎(08388220005)

◆三浦酒造

「銀嶺」は、佐々並盆地の伏流水で醸す酒。果実酒のような香りと深みのある優雅な味。

旭村佐々並2607
☎(08385600005)



金賞受賞(平成13～15年)

◆八千代酒造

主要銘柄の「八千代」は、自家栽培の山田錦を100%精米し、低温でじっくり発酵させた手作りの感のある味が特徴。

むつみ村吉部下3306
☎(0838860221)

◆澄川酒造場

素材にこだわり、原料米は全量地元産の山田錦、仕込水は蔵の裏山に湧き出る岩清水を使用。主要銘柄は「東洋美人」。

田万川町中小川611
☎(08387400001)

◆岩崎酒造

明治35年創業。良質のお米を原料に手造りの酒造りを心がけています。代表は、萩の歴史と風土に育まれた美酒「長陽福娘」。

萩市東田町58
☎(08382220024)



金賞受賞(平成12～14年)

◆一〇酒造

萩城下、野山嶽の近くにある酒造。地酒「一〇正宗米」は、阿武川の清冽な水と、優良酒米で手作りされる地酒。

萩市今古萩54
☎(08382220014)

◆大津友一・大丸酒造

「ともえ」は友と栄える酒という意味から命名。喉越しの良いやや甘口タイプ。

萩市椿3054
☎(08382220023)

◆山根酒造

三見駅のそばにある酒造。主要銘柄の「三福」は、すっきりとした喉越しのよさで全国鑑評会金賞を受賞。

萩市三見3335-3
☎(08382700006)

◆岡崎酒造場

「長門峡」は、名勝長門峡に因む。米へのこだわりが見事で、さらりと飲める名酒。阿武川の地下水で仕込み、飲みあきしない味。

川上村464-1
☎(0838542023)

◆滝口酒造

旭村役場前にある酒造。「長陽旭鶴」は、熱燗でもよし、冷酒でもよし、透き通った味で、さっぱりとした喉越しが魅力。

旭村明木3240
☎(0838550030)

◆白井酒造本店

創業大正元年の酒造店。「笠山」(純米酒)は良質な酒造好適米を高精白し、芳醇でバランスの良い、やや辛口の本格酒。

むつみ村高佐下404
☎(08388800003)

新「萩市」の概要

新「萩市」は、山口県の北部に位置し、萩市、川上村、田万川町、むつみ村、須佐町、旭村、福栄村の1市2町4村で構成され、総面積は約69km²で、山口県のおよそ1割の面積を有します。周辺は、北は日本海に面し、東部は益田市、津和野町（島根県）、南東部は山口市、阿東町、西は三隅町、美東町に接しています。

気候は、沿岸部においては、対馬海流の影響を受け比較的温暖であり、中山間部においては、盆地特有の気候であり、変化に富んだ自然豊かな環境を有しています。

将来像

「自然と歴史、文化に抱かれた健やかでうおいのあるまち」

市域共通の地域特性である豊かな「自然」、すばらしい「歴史」と「文化」を尊重し、後世に伝えていこうという市民の意思と「健やかでうおいのあるまちづくり」を目指します。

- 面積 698.85km²
- 人口 60,289人
- 世帯数 24,794世帯（人口、世帯は平成16年12月末現在）



▲桑原征平さん

●こころの豊かな社会を
目指そう！
平成16年度田万川町「人権」を
考える集い推進大会が田万川町町
民センターで開催されました。
小川小学校3、4、5、6年生児
童による「切手のないおくりもの」
「ふるさと」の合唱でオープニン
グを飾りました。そして、人権教
育啓発応募作品入賞者に賞状が贈
られました。
午後2時からは、桑原征平さん
を講師に迎え、「思いやりの心」
と題して講演会。パワフルで楽し
いお話で、会場はおおいに盛り上
がりました。



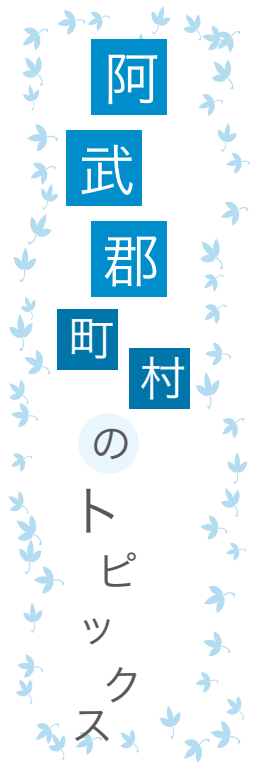
▲そば打ち体験

●明木中の体験学習
明木中学校では毎年、学校の畑
で体験学習で使用するこんにやく
玉、そば、大豆を生徒たちが育て
ています。三学期、収穫した材料
で1年生はこんにやく作り、2年
生はそば打ち、3年生はとうふ作
りに挑戦しました。
生徒たちにとって初めての体験
です。それぞれ講師を迎え指導を
受けながら一生懸命作りました。
みんな上手には出来なかった
けれど最後に試食をしながら、作
る苦労や楽しかったことなどを話
し合っていました。



▲題：ウニの身とり作業

●宇田郷のスケッチ集を
自費出版、部数限定で
希望者に！
宇田郷の広石勝さん（56歳）が、
「宇田郷のスケッチ集」を自費出
版されました。
これは、平成13年に出版された
スケッチ集の続編で、子どもの頃
から絵が得意だったという広石さ
んが、宇田郷の建物や風景などを
水彩、色鉛筆で描いた力作、94画
を綴った作品集です。
自費出版について広石さんは、
「関係者の皆さんが、この絵を見
て、きれいな空気、豊かな恵をも
たらす海や山など、ふるさと宇田
郷を、思い出してもらえれば嬉し
いですね」と話していました。
なお、この続編は町内の各公民
館や小中学校などに寄贈された
ほか、希望者には部数限定（全
300部）でお譲りされています。
問い合わせ 広石事務所
（083888・2・3181）



田万川町

旭村

阿武町

萩広域の各役場広報担当者から、我が町紹介をしてもらいました。

須佐町

●須佐町50周年及び閉町記念事業

3月6日の合併を前に、2月11日、須佐町50周年及び閉町記念事業が開催されました。

まず、須佐町文化センターで記念式典が挙行され、功労団体へ感謝状の贈呈や町民歌「ふるさと須佐」の斉唱等が行われました。

式典後には、町民音頭「愛の輪音頭」を制作時に歌われた金沢明子さんの記念コンサートも開催さ

れました。

式典・コンサートともに会場に大勢の町民の方が集まり、「須佐町」をしのびました。また、商工会等町内団体のみなさんによるうどん販売などのバザーや、須佐町の景勝地や生活の一場面を写した写真展もあり、和やかに「須佐町」を語る姿があちらこちらで見られました。そして最後は、50年という長い歴史を祝い、新「萩市」としての新たな出発に向けて、お祝いのもちまきで締めくくられました。



▶町旗降納

閉町村式 広域圏町村

- 須佐町「閉町式」
2月11日(祝)
- 川上村「閉町式」
2月25日(金)
- 田万川町「閉町式」
2月26日(土)
- むつみ村「閉村式」
2月26日(土)
- 旭村「閉村式」
2月26日(土)
- 福栄村「閉村式」
3月3日(木)

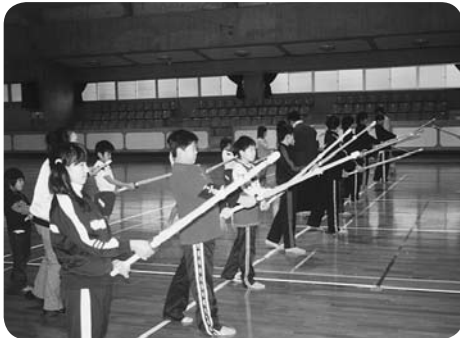
福栄村

●武道大会開催

穏やかな天気に恵まれた1月30日、村民体育館で平成16年度武道大会が開催されました。大会は、1月17日からの武道寒げい古の納め会として開催され、小学1年生から中学2年生の約70人が、柔道の部と剣道の部に参加しました。

試合前の模範演技として村武道振興会員他による剣道の型、剣道二刀流の試合、銃剣術の型及びび試合が披露され、日頃見ることができない演技に子どもたちも熱心に見入っていました。

試合では、保護者や友達の声援を受けながら寒げい古で鍛えた技を出そうと力いっぱい頑張っていました。剣道の判定旗や柔道の本の声上がるたびに大きな歓声が響いていました。



▲寒げい古

むつみ村

●豆まき

2月3日(木)、むつみ保育園で節分の豆まきが行われました。「すぎきらいおに」、「なきむしおに」、「いじわるおに」に扮した鬼役に、元氣よく豆を投げる園児たち。3歳未満児は鬼がこわくて泣き出していました。

開園から約1年、園児たちは体も心もずいぶん成長しました。豆まきのように、これからもいんな「おに」を退治しながら、たくましく育ってほしいものです。



▲豆まき 鬼はそと〜

電話番号

合併に伴い7市町村は同じ市域となりますが、電話番号(市外・市内局番)の変更はありません。

電話をおかけの際は、現行どおりの市外局番をお使いください。

郵便番号

3月6日から、川上地域の全ての郵便局は、「758-0141」に変更になります。

その他の地域については、変更ありません。

住所の表示変更

旧田万川町、旧むつみ村、旧須佐町、旧旭村、旧福栄村は、現在の大字の前に「萩市」がつきます。旧川上村は、現在の番地の前に「萩市川上」がつきます。字の区域・名称については、変更ありません。

萩の店・人

「小萩」 東京都中央区銀座
萩出身の西村幸子さん

▲小萩の店内



新橋駅から徒歩5分

北朝鮮から、戦後、父の故郷の萩に引揚げ、学生時代をほとんど過ごしました。美しい山、川、海のある恵まれた所で感受性の一番強い時代を過ごした私にとりましては、心は何時も萩に有り、独立しました時は何も考えず店名を「長州」（赤坂）と名乗りました。勉強不足の若い私には色々歴史的な事を質問せぬに合い、苦労した苦い思い出があります。また、長州と名乗ったため山口県の方々が大勢いらして下さり、大変可愛がって頂きました。

その後、銀座に「ほとす」を出し、バブルも経験し今まで夢中で走って参りました。今では40年余りの最後の城、年

相応の小さな店を又々「小萩」（銀座）と名乗り、毎日萩自慢をしながら楽しく頑張って居ります。店内は山口弁が飛びかかって居り、カラオケは吉田松陰、萩の母がよく流れます。

つくづく私は萩のDNAを感じます。歴史的にも素晴らしい人を擁した私達は誇りに思い、幸に思っ居ります。最低でも年に一度は墓参りを兼ね、萩の空気にふれ、リフレッシュしている現在です。

プロフィール 西村幸子 萩市橋本出身、萩高第6期卒、69歳
「小萩」 東京都中央区銀座8-5-24 銀座エイトスタービル4階
(03・3574・7123)

萩国際大学、ゴルフ場取得！

萩国際大学は、1月21日石見空港ゴルフ倶楽部田万川コース（田万川町）を取得し、「萩・石見カントリー倶楽部萩国際大学コース」として3月から運営を開始しました。ゴルフ場を所有する大学は全国でも初めて。

大学は昨年春に国際学科ゴルフ文化コースを開設しており、学生のゴルフ技術の向上を図ると共に、ゴルフ場の経営・管理、接客などゴルフビジネスを実際に体験でき、実社会および勉学の場として期待されます。

取得した田万川コースは、萩・石見空港から車で15分程度にある

18ホールの本格的なゴルフ場で、一般ゴルファーの方も利用できるパブリックコース。その運営は、地元企業が設立した会社に委託し、社員等は継続雇用され、大学、学生、委託会社が一体となりゴルフ場を運営します。

大学では、日本プロゴルフ協会が導入を検討している、プロゴルフの資格取得を可能とする「プロゴルフマネージメント」という制度に、候補として名乗り出ており、大学で学びながら、同時にプロゴルフの資格を得ることが出来れば、学生にとっても大きなメリットとなります。



2005年3月(第62号) 10

萩工業高校ラグビー部 惜敗！



昨年の全国高校ラグビーフットボール大会、12月28日の初戦、四日市農芸と対戦。前半一時は12点をリードしましたが、ロスタイムにトライを奪われ、後半も守勢に回り、逆転を許しました。終了間際にトライを奪い、意地を見せたものの、17対28で敗れました。

「前半はうちのペースだったが、相手に比べFWの走力が足らなかった。チームを立て直して、来年も花園を目指したい」と田村監督。初戦敗退は3大会ぶり。

地産地消の輪を広げよう！

萩地区「食彩フォーラム」

去る2月3日、萩市民館にて、「食彩フォーラム」が開催された。萩・阿武地区の食材の良さを再評価し、地産地消の輪を広げて行くための啓発イベント。当日は生産者・一般消費者・食品流通や飲食業関係者など約150名が参加、地産地消運動に参加している飲食店や地域の料理研究グループから、数多くの地産地消メニューが出品された。そのメニューの中から代表的な料理をバイキング形式で試食できるコーナーもあり、参加者には大好評。試食に供された料理は約30種、いずれも萩阿武産の海の幸・山の幸を素材に使い、素材の良さをうまく引き出したメニューばかり。萩阿武地区産品の味の実力を充分に実感できた。午後からは生産者・流通・消費者・旅館などの各代表者によるパネルディスカッションが行なわれ、地産地消の大切さと、今後の取り組みについて活発な意見が交された。主催は、阿武・萩地域地産・地消協議会。



▲約30種の地産地消メニューが並んだ、試食コーナー。バラエティーに富んだ料理の数々は、萩阿武地区産品の味の実力を感じさせた。

めーるぼっくす 会員の皆さんからのお便り

○猪山隆平（福岡県久留米市）

萩ネットワークが届くのが楽しみです。内容を見て、旅行の計画をたてます。昨秋の萩博物館オープンに伴った旅行もとても楽しかったです。より詳しい情報はプチ自慢にも・・・。

今年3月は、椿群生林へのドライブを計画。とても参考になっています。

○中山定夫（大阪府大阪市）

1月号に早速リクエストに応えて頂き、「中原万里」さんをご紹介下さり、有難うございました。声だけでイメージしておりましたが想像以上の萩美人でした。次回からもなつかしく親しみを持って聞かせてもらいます。

○澤 辰美（兵庫県宝塚市）

1月8日の列島あさいち（NHKラジオ）をききました。樫まつりと萩博物館について対談形式で、要領よくまとめられ、とてもなつかしく聞きました。今年は樫の開花が早いようですね。樫まつり、萩博物館、阿武川温泉とますます訪萩の楽しみが増えました。

○隆崎浩道（大阪府松原市）

萩はどこから見ても絵になります。下瀬さんのカレンダー写真

の新しい切り口が楽しみです。戦前の萩は、どちらかといえば湿っぽい感じでしたが、このネットワーク紙では近代的な明るい動きが伝えられほっとします。

春の合併により大発展が期待されます。「旬の味便り」には商品の価格や取扱店を付記していただければと思います。

○田村清介（神奈川県相模原市）

萩を離れて50年経過しましたが、やはり萩は心の寄り所、本誌は唯一萩のぎずな。これからも頑張ってください。

○中本幸男（萩市椿東）

こと萩に関しては身近なニュースや情報にあふれており、参考にしています。食べる、泊まる、観る、探す、調べる、あげる、遊ぶ、集まる、読む、写す、歩くアラカルトからいつでも必要なものをつかまえられるように、より充実をお願いいたします。

○小田恒雄（埼玉県川口市）

大きく変わるうとする「萩の今」を知る上でとても大切な情報誌です。いつも楽しみに読ませて頂いております。

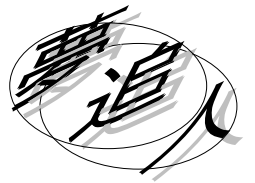
ところで川口市では2年に一度「盛人式」が開催されます。対象

は川口市在住か川口市に勤務されている50歳を迎える人たちです。今年1月に第3回目となります。

特に第1回目の「盛人式」に参加した仲間が中心となり「盛人の会」を設立し、記念事業に30年かけて「森」をつくるボランティア活動を開始。私は途中から「盛人の会」に加入し、この森（盛人の森と呼ぶ）づくりに参加しています。地域の子供たちが自然の中で遊ぶ、生き物に触れることで命の大切さを感じる場になればと思っています。

森で作業をしていますと萩で過ごした川遊びや山遊びをした子どもころを思い出します。リタイア後の今、地域に何かしら役立ちたいと思いと郷里の萩の良さを地域に広めたい思いが湧いてきます。

「萩はいいところですね」と言ってくれている周囲の方たちから、次は「萩はまちじゅうが博物館ですわ」と言われるようになればと思っています。萩を思う全国の人たちに「萩ネットワーク」が行きわたることを願ってやみません。「盛人の会HP」URL <http://www.geocities.jp/sejin5050/>



萩博物館 学芸係主任

堀 成夫

さん(33歳)

(萩市江向在住)

萩の海の面白さを、多くの人に伝えたい



▲萩博物館交流ゾーンに置かれたミニアクアリウム
“小さな萩の海”の前で

足元の海で拾ったサクラ貝

専門は海洋生物学です。小学校低学年の頃、当時の郷土博物館・吉松先生が主催されていた自然観察会に定期的に参加していたことが、生き物に興味を持つきっかけでした。昆虫とか植物とか、とにかく生き物が大好きで、自宅でハムスターを何匹も飼育していたほどです。

海洋生物との決定的な出会いは、明倫小4年の頃、近くの菊ヶ

研究できる大学があまり無いことが分かりましたが、なんと、あの憧れの奥谷先生が、東京水産大学の教授陣にいらっしやったのです。

微小貝を研究

迷うことなく東京水産大学に進学、入学してすぐに先生の研究室を訪ねました。

大学では、まだほとんど手が付けられていない「トウガタガイ科」の貝をテーマに研究しました。全世界に約5000種、日本産で約700種もいるとされる「微小貝」のグループです。大きさはほんの2〜3mmの小さな巻貝、アワビやサザエなど他の生物に寄生して生きている貝です。菊ヶ浜の砂を一握り取って、良く見れば発見することが出来ます。

大学の研究室では毎晩遅くまで、この小さな貝たちを、顕微鏡下で解剖し、消化管や生殖巣を切り分けるといったミクロの作業をしていました。

萩の海は「発見のある面白い海」

昨年、約14年振りに萩に戻ったのですが、改めてここ萩の海はすごいと思いました。

日本海の南の玄関口という立地、しかも対馬暖流の影響を直接受ける海、貝に関して言うと、幕

末期から新種の貝がたくさん発見されています。多分、魚類や他の海洋生物でも特別な多様性を持っているように思います。

もちろん本業は、海洋生物の調査研究ですが、博物館を通じて、萩の市民の皆さんに、この豊かな萩の海に興味を持っていただきたいと考へ、これからのいろんな企画を打ち出していきたいと思います。

萩には数多くの歴史的資産があり、それらは手軽に近づいて見たり触れたりできますが、海にはちよっとハードルがあります。浜から眺めているだけでは海の持つ魅力はほんの一部、足を水辺につけてみる、膝まで海につかってみることで、驚くような新発見があります。きっと、すごく面白い海のそばに住んでいるということを実感してもらえ自信があります。

市民と一緒に

ふるさとの海研究

昨年から地元の中学生グループ約30人と一緒に「海の授業」と題して、萩の海の微小貝を調べています。浜に出て水につかって小さな貝を採集、それを分類してレポートにまとめる、そして、それを展示し生徒たち自身が説明、多くの人々に伝えていくところまでで完結、元気な中学生と一緒に楽しんでいきます。

また、萩博物館で2月末まで「萩の海 新発見・再発見」と題した市民参加型の特別展示も実施。市民から博物館に提供のあったテンガイハタやアカナマダなどの珍しい海洋生物を展示しました。

このように、市民の皆さんと一緒にになって、この面白い海を研究していけたらと思います。萩を離れていらっしやる方も、帰省の折には、幼い時期に見た萩の海の記憶、その時の海が今どうなっているか、是非、萩の海に触れて確かめて下さい。

プロフィール

昭和46年萩市熊谷町生まれ。明倫小、明経中、萩高を経て、東京水産大学へ進学、博士課程修了(専門は海洋生物学)。卒業後、オーストラリアに渡り、シドニーのオーストラリア博物館で貝の研究、帰国後、科学技術振興機構の研究プロジェクトに参加。平成16年、萩に戻り、萩博物館勤務。

市民参加型の特別展示



萩博物館だより

☎0838・25・6447

◎企画展

萩の花

一橋・サザンカ・梅・桜

4月17日まで

萩地域とかかわりの深い花々について、美術工芸、歴史、民俗、自然など様々な分野から総合的に紹介します。

陶芸家 三輪和彦氏

京畿道世界陶磁

ビエンナーレに出展

京畿道^{キョンギド}世界陶磁ビエンナーレは、韓国京畿道で開かれる、世界67か国、陶芸家3000人が参加、陶磁分野で最高権威を誇る国際的祭典です。

三輪和彦氏は、利川^{イチョン}世界陶磁センターで開催される「世界現代陶磁展」に新作を出展予定です。作品は、直径約140cm、重さ約300kgの大きな器です。

とき 4月23日(土)～6月19日(日)

ところ 韓国 京畿道利川市、広州市、驪州市

問い合わせ 京畿道世界陶磁ビエンナーレ広報事務局
03・3575・9823

平成17年度企画展

萩博物館

新収蔵品展

4月28日～6月28日

ここ最近、萩博物館には新しく資料が寄贈、あるいは寄託されました。これらの資料を中心に、絵画・墨跡・古文書・陶磁器・刀剣・考古資料・民俗史料などを選び、ぐり、バラエティーに富んだ博物館の収蔵品を紹介します。

『宝島』の作者

ステイヴンソンが

つづる吉田松陰伝展

7月9日～9月4日

イギリスの文豪ステイヴンソンは、世界で初めて松陰の伝記を書きました。彼がなぜ松陰の存在を知り、どのような松陰伝を描き出したのか、また彼の人生に松陰がどのような影響を与えたのか、ステイヴンソン自身がつづった文章と国内外の関係資料を駆使して解き明かします。

合併記念特別展

9月17日～10月16日

合併し新しい萩市となる旧1市2町4村はそれぞれ特色ある

文化財を持っています。合併を記念して、地域の貴重な文化財を掘り起こし紹介します。

発掘された城下町展

10月29日～平成18年1月22日

萩博物館が立地している大野毛利家上屋敷遺跡や萩城外堀遺跡では、城下町に住むさまざまな人々の生活や娯楽にかかわる遺物が大量に出土しました。これらの遺物を中心に展示し、遺物が語りかける萩城下の人々の暮らしや技術を紹介いたします。

幕末長州の

モノづくり

平成18年2月4日～

幕末期、萩の郡司鑄造所では洋式大砲を鑄造していました。郡司鑄造所の発掘調査によって出土した多様な遺物や、郡司家伝来の文献資料等を通して、長州藩におけるモノづくりの一端を紹介いたします。

山口県立萩美術館・浦上記念館だより

☎0838・24・2400

◎企画展

シリーズ山東文物5

小さな御仏たち展

3月13日まで

南北朝時代の金銅仏のなかから、美術史的価値の高い作例を中心に73点を紹介します。

平成17年度特別展

瀬戸陶芸の精華展

4月23日～6月12日

1000年以上の歴史と伝統によって生み出された華麗な瀬戸陶芸の歴史を各時代の代表作で振り返ります。

明治絵・文明開化

の世界展

6月18日～7月10日

明治維新によって、旧時代の江戸から新都・東京を中心にして急速に西洋の近代化へと変貌していく様相を当館が所蔵する明治絵を通して紹介します。

加守田章二展

7月16日～9月4日

鋭敏な感性と現代的知性、作陶についての豊富な想像力をもって現代日本の陶芸界に異彩を放った

陶芸家、加守田章二の造形の軌跡を紹介します。

東アジア

中世海道展

9月17日～11月27日

12～16世紀の東アジアの海を舞台に、中国・朝鮮・日本や周辺の地域が相互に影響を与えながら育んだ交流の歴史と文化の煌めきを、考古・文献・美術・民族史料などの学術的な視点と多様な資料で紹介いたします。

シリーズ山東文物6

鏡の中の宇宙展

12月10日～平成17年3月12日

中国山東省との友好交流事業の第6回目の展覧会。古来日本人が憧れ求めてきた中国の銅鏡を、銅鏡の製作が盛んであった春秋・戦国時代から唐時代までの名品を通して、日本における銅鏡のルーツを紹介いたします。

開館時間 午前9時～午後5時休館日 月曜日(月曜日が祝日の場合は翌日が休館、5月2日は開館)

入場料 一般1000円、学生800円(シリーズ山東文物は、一般700円、学生500円)

情報アラカルト

関東地区

■「おとずれ一物語の予兆」展
陶芸家 三輪和彦の作品が展示
されます。

とき 3月2日(水)～12日(土)
ところ 東京都千代田区九段南
2-1-17 パークマンション千
鳥ヶ淵1階 ニキギヤラリー冊
(03・3221・42220)

■NHKハート展
陶芸家 三輪和彦の作品が展示
されます。

とき 3月1日(火)～6日(日)
ところ 東京都中央区 三
越日本橋本店7階催物会場
(03・3241・3311)

■『陶』食のうつわ展
萩焼作家 三輪壽雪、三輪休雪、
三輪和彦の作品が展示されます。

とき 3月15日(火)～21日(月)
ところ 東京都中央区 三越
日本橋本店6階美術特選画廊
(03・3241・3311)

■納富晋 作陶展
萩焼作家 納富晋の作品が展示
されます。

とき 3月30日(水)～4月4
日(月)

ところ 鎌倉市小町2
-23-6 日蓮の辻説法
通り カマクラコーゲイ
(0467・25・1766)

■襲名披露十二代三輪休雪 オ
一口ラ盤展
萩焼作家 三輪休雪の作品が
展示されます。

とき 4月12日(火)～18日
(月)

ところ 東京都中央区 三
越日本橋本店6階特選画廊
(03・3241・3311)

関西地区

■大阪指月会総会 60周年記念
大阪指月会総会を次のとおり
開催します。多くの皆さんの参加
をお待ちしています。

とき 4月17日(日) 正午～午
後3時
ところ 大阪市北区 大阪弥生
会館(06・6373・1841)

■内村幹雄食器展
萩焼作家 内村幹雄の作品が
展示されます。

とき 4月3日(日)～18日
(月)

ところ 大阪市向陽町14-8

中国地区

■おいでませ山口館(広島)の催
し「萩からの贈物」
「萩陶苑」の萩焼展示即売、萩
の海産物販売(3月3日入荷予定)
などが行われます。抽選で萩の旅
館宿泊券などが当たるアンケート
も実施します。

とき 3月8日(火)まで
ところ 広島市中区紙屋町2-2
-2 紙屋町ビル1階 おいでませ
山口館(0822・5047001)

■岡田裕作陶展
萩焼作家 岡田裕の作品が展示
されます。

とき 3月30日(水)～4月5
日(火)

ところ 米子市角盤町 米子タカ
シマヤ(0859・22・1111)

■兼田昌尚展
萩焼作家 兼田昌尚の作品が展
示されます。

とき 4月21日(木)～27日(水)
ところ 松江市朝日町 一畑百貨
店(0852・55・2500)

山口県関係

■毛利博物館の企画展
●お雛さま
丸顔の愛らしい次郎左衛門雛の

段飾りを中心に、毛利家の女性
たちが愛で慈しんだお雛さまの
数々を展示します。

とき 4月3日(日)まで
ところ 防府市多々良
1-15-1 毛利博物館
(0835・22・0001)

九州地区

■萩・大屋窯展
大屋窯の作品が展示されます。

とき 3月8日(火)まで
ところ 福岡市中央区渡辺通
2-3-27 待鳥ビル507
ムービングギャラリー望雲
(092・733・1135)

萩市関係

■萩城下の古き雛たち
萩市内に残っている江戸から
昭和までの古い雛人形を展示。旧
久保田家住宅には、大小15組の雛
壇の上に600個以上の雛人形
や雛道具が展示されます。

とき 4月3日(日)まで
ところ 萩市呉服町 旧久保田
家住宅、萩市川島 旧湯川屋敷ほ
か

問い合わせ 萩市観光課
(0838・255・3139)

■彩陶庵の企画展
●萩・4人のうつわ一式
萩焼作家 金子司、中島大輔、
野坂和左、浜中史朗の作品が展示

されます。

今回は「灯りと宴」をテーマと
した器や、「カタチカラカタチへ」
と題し、二人一組で造形を連係さ
せる『カタチ』の連想ゲームのよ
うな試みの企画です。

とき 3月4日(金)～13日
(日)

ところ 萩市呉服町
ぎやらりー彩陶庵
(0838・255・3110)

■蔵貫信展「Zoo」
蔵貫信のイラスト作品が展示
されます。

とき 3月5日(土)～20日
(日)

ところ 萩市西田町24
You工房(萩工房)
(0838・222・2427)

■躍動会展
萩市の画家 藤崎恒頼をはじ
めとする萩市、長門市、宇部市の
画家25人の作品が展示されます。

とき 4月28日(木)～5月1
日号(日)

ところ 萩市民館小ホール
問い合わせ 藤崎恒頼さん
(0838・26・06005)

出版情報

■「秘史を伝える石造遺物」山口
県北部の歴史と文化」
川上村の阿武義和さん(文)と

新規加入会員ご紹介

廣兼聡さん (萩市)
 中村久信さん (栃木県矢板市)
 清地治正さん (東京都町田市)
 山村将雄さん (山口市)
 吉岡敏法さん (防府市)
 豊田松夫さん (藤沢市)
 中田幸子さん (横浜市)
 小野五枝さん (東京都大田区)
 村上浩三さん (栃木県各務原市)
 尙忠小兵衛蒲鉾本店 (萩市)
 山下嘉憲さん (山口市)
 豊田貞雄さん (山口市)
 河村伴昌さん (千葉県我孫子市)
 栗山展種さん (千葉県)
 柳井薫さん (千葉県四街道市)
 仁保義和さん (川崎市)
 加藤敦子さん (名古屋市)
 西田彰徳さん (横浜市)
 (2004.12.22～2005.2.23 加入者 18人)

テレビ・映画情報

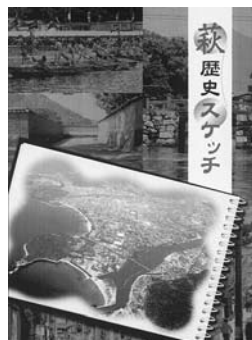
萩市椿東の波多野洋子さん(写真)が自費出版した写真集。萩市や周辺町村の山中や竹やぶに点在する石像や石仏、隠れキリシタンの信仰対象と見られる遺物など150点を紹介。700部作られました。
 A4判/170ページ
 3800円
 申し込み 阿武さん
 (0838・54・2703)

■「課外授業 ようこそ先輩」陶芸家十二代三輪休雪篇」
 この番組は、各界の第一線で活躍する方が母校の小学校で授業をし、その方の原点を探りどのように自分の世界を作り上げてきたか伝える番組です。
 萩市立椿東小学校出身の萩焼作家三輪休雪さんが、母校の子

どもたちに授業をします。
 放映予定 5月 水曜日
 放映局 NHK総合
 ■CM「NTTドコモ中国」
 萩で人力車をひく中原省吾さんや萩のまちを中心としたCM。平安橋や菊ヶ浜、河添河川敷などで撮影されました。
 放映予定 4月上旬まで
 放映エリア 中国5県
 ■映画「萩焼 十一代三輪休雪の鬼萩」
 「キネマ旬報」2004年度文化映画ベスト・テンで第6位に選ばれた作品。重要無形文化財保持者(人間国宝)である十一代三輪休雪(現壽雪)の創作の様子が記録されています。
 カラー37分
 ビデオ発売中 5万2500円
 企画 文化庁
 製作 桜映画社
 (03・3478・6110)

萩の歴史をたどる入門編！ 『萩歴史スケッチ』

横木 稔郎 著
 (読売新聞萩通信部)



平成16年4月から12月までの8か月間、読売新聞山口県版に連載

『関西の中の防長』

一坂 太郎 著
 (萩博物館特別学芸員)



平成15年9月から今年の1月まで朝日新聞山口県版に全51回にわたって連載された「関西の防長」が1冊にまとめられました。
 この連載は、平成16年3月から、

された「萩歴史スケッチ」の計77回分が1冊にまとめられました。連載を続けるうち、「毎回切り抜きをしている。楽しみに読んでいます。」「ぜひ本にして、萩の史跡探訪のガイドブックに」などの反響があるなど、大変好評を博していた連載です。

萩の歴史の再発見を狙いにした同書は、見慣れた史跡、景観の中に秘められた史実やロマン、政治ばかりでなく、経済や文化など各分野で活躍した萩出身の人々にスポットが当てられています。
 例えば、新政府への反発から起

萩ネットワークでも、「関西の萩」と題して連載してきました。
 兵庫県芦屋市で生まれた著者が山口県に移り住んで15年。山口県を「第二の故郷というべきなのだろう」と語る著者が関西の中に存在する「防長」を紹介。

「造幣局の桜の通り抜けをはじめた遠藤謙助はもと長州藩士である」「初代大阪駅長は高杉晋作の義弟だった」「兵庫県で伊藤博文は初代知事として知られている」など、関西と防長の接点を興味深く探ります。

「防長人は東京に対して憧れを、関西に対して親しみを持っているような気がする。これから山口県から出、関西で活躍しよう」と志す

きた萩の乱、幕末の尊王攘夷論の高まりで失脚し、壮絶な死を遂げた藩士・長井雅楽、明治維新を成し遂げた後、フランスの芸術運動「アール・ヌーヴォー」に強い影響を与えた日本画家の高島北海らが取り上げられています。
 気軽に読めるようにと、平易な文章で簡潔にまとめ、地図が添えられています。
 A5判/140ページ
 定価 1500円
 発行 読売新聞西部本社
 3月20日発行予定

若い方たちの指針になつてくれればという密かな期待もある」と著者は語ります。
 A5判/120ページ
 定価 1200円
 発行 春風文庫
 3月1日発行予定

萩ものがたり

4月発行

ブックレットシリーズ第3回

●「松陰先生のことば」明倫小学校監修

●「長州ファイブの足跡を追う旅」宮地ゆう著

問い合わせ 萩ものがたり事務局
 (0838・25・3233)

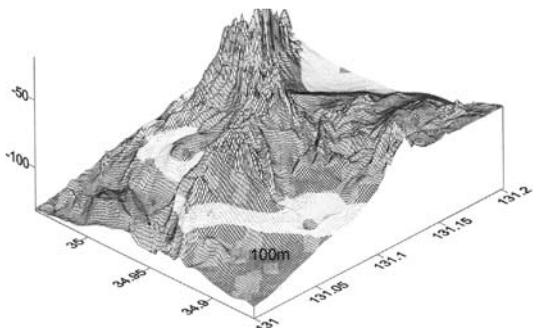
◆購入ご希望の方は、萩ネットワーク協会 (0838・25・3178) まで

萩沖の島々を巡る

その② 【見 島】 下



①北灯台付近／島の北端、北灯台付近に浮かぶ漁船。島の周辺では、いちばん潮通しの良い場所で、秋冬のシーズンには、本マグロの回遊も見られる。この先約 150 km に朝鮮半島が。



②八里ヶ瀬／北灯台から北方向に約 20 マイル進むと、日本海有数の漁場「八里ヶ瀬」がある。水深約 150 m から一気に 50 m 近くまで駆け上るような複雑な海底地形と、この瀬にぶつかるような流れる対馬暖流が、豊かな海の幸を育む。



③ウニの殻割り／海の幸に恵まれた見島、中でも一番人気はウニ。高価なウニを惜しげも無くたっぷり使った「ウニ飯」は見島の名物。これを味わいたくて、わざわざ見島を訪れる観光客もいるほど。

■見島への定期航路

萩商港（浜崎町）発着

大人 1,890 円

問い合わせ 萩海運(有)

0838・26・1093

萩沖の島々。前回の見島【上編】では、島の内陸部を中心にレポート、今回は、見島の豊かな海にスポットを当ててみます。度々仕事で島に渡りますが、やはり見島の海は、お魚もケタ外れに多く、スゴイです。（取材・文 中澤さかな）



④イカ干し／見島近海はイカ類の好漁場。宇津漁港の空き地では、あちこちでイカを干す風景が見られる。見島産ケンサキイカの一晩干しは、甘みと厚みがあって、柔らかくとっても美味しい。地元でドンコと呼ばれるアオリイカの一晩干しも逸品。



⑥本まぐる／青森県大間とならんで近海マグロ漁場として全国的に有名な見島。毎年秋から冬にかけて、大型本マグロ水揚げのニュースが飛び込んできます。今シーズンも好調で、現地港の秤（250 kg まで計測）を振り切る超大物が続々と。



⑧離島体験／見島ならではの手付かずの自然や伝統工芸などを実体験できる「見島感動体験」が、この4月より本格的にスタート。建て網漁の漁業体験や伝統風の製作体験など、全国的に見ても希少なプログラムも多い。



⑤おしあいの館／昨年春、本村漁港にオープンした展示施設。伝統和船競争（おしあい）に使用する五丁櫓和船や、古い船道具、伝統漁具が展示されている。見島の海のミニ博物館。



⑦釣り師、垂涎の島／大型ヒラマサ・大型マダイがコンスタントに釣れ、本マグロも狙える好ポイントとして、釣り師にとってはまさに垂涎の島。毎年秋には、クロマグロトーナメントも開催される。